

平成 19 年度第 3 回 冷凍空調規格委員会
冷凍用圧力容器溶接基準検討分科会
議事録

日 時 : 平成 19 年 7 月 5 日 (木) 13:30~16:30

場 所 : 高圧ガス保安協会 特別会議室(7F)

出席者 : 委員 : 樋口主査、下村、中尾、桑野、山本

KHK : 佐藤、鈴木

配付資料

資料 14 前回議事録 (案)

資料 15 冷凍用圧力容器の溶接基準改正案 (Rev.2)

定足数報告 : 事務局から定足数を満たす旨報告があった。

議 案 :

(1) 前回議事録の確認

資料 14 に基づき、前回の議事が確認され、議事録が承認された。

(2) 基準改正案の検討

資料 15 に基づき、基準改正案につき検討がなされ、以下の質疑等があった。

- ・ 1.2(2)半自動溶接の項で、溶接機器とあるのは溶接機とする。
自動溶接の項にある溶接機器は、溶接機、電源、制御機器等の総称であり、この項の溶接機は、溶接機そのものを指す。
- ・ 2.6(4)全密閉型圧縮機は、現在は全密閉圧縮機と呼称しているのでその表記にする。
- ・ 2.7 の平鏡板は、平板 (原文どおり) にする。
- ・ 2.8(2)の文中、「引っ張り強さ」は、「引張強さ」とする。
- ・ 2.10(2)の項の下に、理解しやすくするため、原文の図 2.9 を復活する。
ただし、同図中の最大 38mm でよい旨の表記は削除する。冷凍の場合、胴板の厚さが 20mm 以上になる例はなく、この表記を削除したとしても、実害はない。
- ・ 4.溶接施工(8)冒頭の「突き合わせ」は、「突合わせ」とする。

- ・ その他編集的な修正を次のとおり行う。
 - 1) 文字は、明朝体にする。
 - 2) 図のタイトルは、図の下に表記する。
 - 3) 表のタイトルは、表の上に表記する。
 - 4) 文中の図番表記の箇所は、ゴシックにする。
 - 5) 文中で、数字と単位とは半角分空ける。他

(3) 決議

- ・ 審議の後、以上の点を修正して分科会案とすることが承認された。

(4) その他

- ・ 以上の修正後、各委員に分科会案を郵送する。

以上